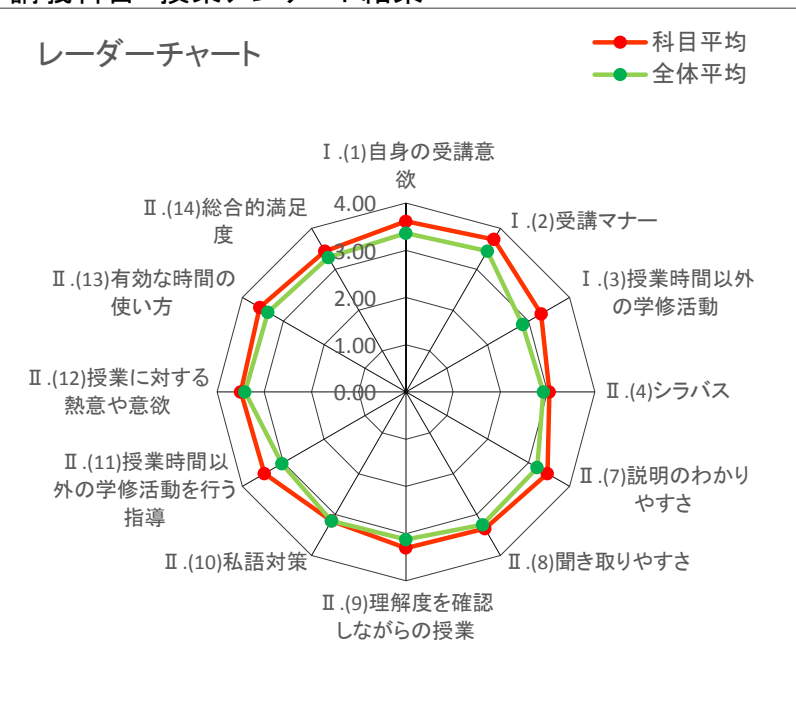
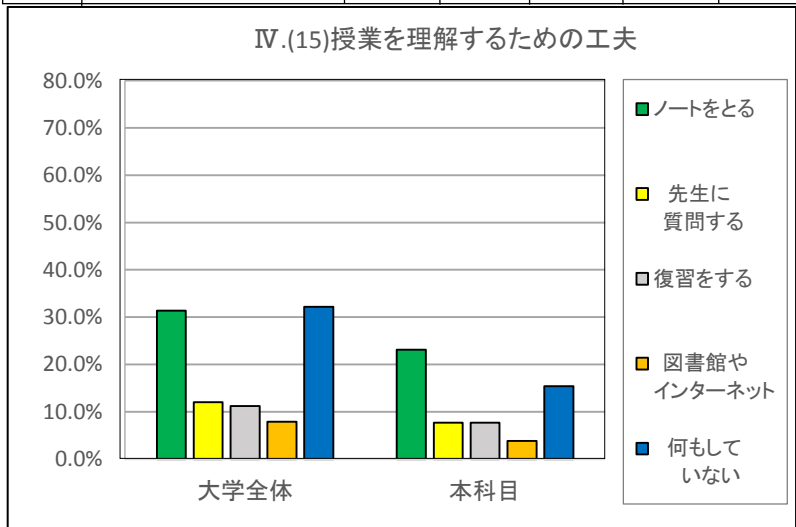


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2、(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	23.1%	7.7%	7.7%	3.8%	15.4%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	13105
科目名	社会科指導法
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.62	3.36
	I.(2)	3.73	3.45
	I.(3)	3.31	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.04	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.46	3.21
	II.(8)	3.35	3.25
	II.(9)	3.31	3.13
	II.(10)	3.15	3.16
	II.(11)	3.46	3.04
	II.(12)	3.50	3.41
	II.(13)	3.58	3.37
	満足度	II.(14)	3.44

①授業計画の達成度について
 このクラス全員が教員を志望しており、目標が明確なので担当者としては、授業の進行がやりやすく、授業計画のほとんどを消化することができた。

②授業の進め方について
 授業の進め方については、双方向性の授業を心掛けた。90分中45分を学生(1人)の模擬授業に使い、残りの45分を児童役(受講生の1/2)は受講した感想を、参観者役(受講生の1/2)は「模擬授業評価表」の評価項目に従って5点満点で記入する。翌週には、児童役と参観者役の二グループに分けて、学生の司会の元に反省会を開き、残り15分程度で、担当者がコメント(授業評価)を行った。
 7週目からは、学生も授業の進め方を習得したので、2週にわたって実施していた方法を、1週の90分で全てを取り仕切った。この方法により、多くの学生に模擬授業を体験させることができた。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.55	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.36	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度 III.(14)	3.44	3.29

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について
 7月のオープンキャンパスで、平素の授業スタイルで実施したところ、双方向性の授業(学生が主体)に対して、参観していた保護者及び高校生からの評価が非常に高かったようである。(オープンキャンパスの反省記録から)